

「OBI 今後のビジョン」 理事長 世良田 湧侍



OBI のこれまで

OBI は、創立当初から信徒の聖書教育を主たる使命として 1991 年に開講致しました。聖書と聖霊によって啓発され、福音宣教の担い手として整えられる必要のある各教会の信徒の方々を対象としています。

すなわち信徒がより一層聖書とその周辺の学びを修得される場として、お茶の水の地の利を生かす教室が福音宣教の働きの一つとして開設されたのでした。

さて、その学び舎に集う人々、諸教会の信徒の方々はいわば眠れる巨人と呼べる人的資源です。信徒の訓練目標は、主に仕え、教会に仕える信徒、聖書に強い教会の信徒協力者という設定です。これらの使命感を持ち、また信徒を対象としての教育

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-1
OCCビル 2F
TEL 03-3296-1005
FAX 03-3296-4641
e-mail office@obi-net.com
Web http://www.obi-net.com
お茶の水聖書学院
お茶の水聖書学院後援会

を行うことを、これまで以上に OBI の理事会、総会、教師会、スタッフミーティングなどで繰り返し徹底していきたいと思えます。

OBI のこれから

こうした温故知新の働きに加えて、新しいビジョンが今の OBI に必要です。それは今の OBI に欠けているものを探して補いつつ、将来を目指す効果的な経営へと刷新する必要があるからです。この面で現実に必要なとしているのは、OBI の組織と構成員のイノベーションであろうと思います。

旧態から新しい体制へと各種の改革を進めて行かなくてはなりません。ミッシェンステートメントの再確認、学院経営の指導者層の確立、組織形態はどうあるべきか。人材は適材適所になっているか、学院生はさらに集められるかなどです。

それに加えて、学院生の増加のためには、教師、教室、広告宣伝など、さらなる資金源の開拓が必要です。それらを総合的に企画しながら、OBI の目標設定をトップダウンでは

なく、ボトムアップでもなく、両方から持ちだしてきて合意点を探るという会議や打ち合わせが必要です。はつきり言って人材不足です。それをどう補っていくか、課題は尽きません。OBI が「信徒教育を掲げて」これまで 20 年間進んで来た成果をみると、その成果にはおのずと限界があることも確かです。この点を諸教会の方々のご理解をいただき信徒の方々を教室にお送りいただきたくお願い申し上げます。

OBI はもともと OCC の教育部として始まりました。しかしバブル崩壊後に OCC の組織から分かれまして、その後 10 年を経た今、再度双方の使命の共有や宣教対象などを考慮して協力して進むことを検討する気運が来ています。

OBI の今後のビジョンは、特に教会信徒教育の一層の強化です。OBI の規模の拡大と学院生増加の道を探っております。首都圏から地方への拡大と普及、ネットでの可能性をさらに求めて参りたく存じます。皆様のお祈りを感謝致します。

「宗教改革の足跡と バッハをたどる旅10日間」

本科生 倉内一寿

今回の研修旅行には、急遽、孫と一緒に参加することになり、皆様には何かとご迷惑をおかけしたことを思います。なんとか無事に帰国できたことを感謝いたしております。孫にとっても良い経験であったと思います。

10月31日は宗教改革記念日ですが、実は、妻・幸子の命日でもあります。私はこれまで妻の命日と宗教改革記念日が一致していることについて、その意味を深く考えることはありませんでした。しかし、今回の研修旅行に参加し、ルターの足跡をじっくりと見た時に、あっ！そうかと考えるようになったのです。

ルターはヴィッテンベルグの教会の門扉に95箇条の提題を貼り出したのち、カトリック教会から破門され、いのちの危険にさらさ

▼ワルトブルク城



れます。しかし、幸いにもフリードリッヒ選定候に助けられ、ワルトブルグ城の密室にかくまわれました。私はこのルターがかくまわれた部屋を見たとき、当時の様子が心に浮かび何とも言えない大きな感動を受けました。

そして、ルターが命がけて聖書の真理を語り続け、窮地に立たされても決して自説を曲げることがなかったその姿に、妻の信仰がダ

ブって見えてくるのです。妻は19歳の時にクリスチャンとなり、昨年70歳で召されるまでキリスト教ひとすじの人でした。心から神を愛し、探求し続けてきたのです。意識障害に陥った妻が必死になつて『神さま、これまで支えてくださり感謝します。どうか多くの方々が聖書に記されている唯一まことの神を知ることが出来ますように。』と語っているように思えるのです。

次にカルヴァンについてですが、実は日本長老教会は彼の教理を基本としており、実質的にカルヴァン教会のことなのです。私にとつて長老教会は四つ目の教会ですが、長老教会と言わないで、カルヴァン教会と言ってくれば、わかりやすかつたのにと感じております。

ところが、カルヴァン教会という名の教会はありません。彼は自分の名前をつけるのを許さなかったそうです。その理由が今回の研

修旅行で、スイスのジュネーブにある彼のお墓を見てよくわかりました。彼は偉大な神学者であるにもかかわらず、お墓は一市民と同じ大変質素なものでした。これを見て私は大きな感動を受け、なるほどと思つたものです。ただ神の栄光のみを求めたカルヴァンにふさわしいお墓だと思いました。

▼カルヴァンのお墓



ルターの部屋から

カルヴァンの墓所まで

三浦 喜代子

宗教改革の旅は十年越しの念願であった。特に、マルチン・ルターが95箇条の提題を貼り付けたヴツテンブルク城の門扉、カルヴァンが説教したジュネーブのサン・ピエール大聖堂、バツハが27年間合唱長として音楽活動をしたライプチヒの聖トーマス教会へ行くことは夢のビッグ・スリーであった。それが実現したのである。しかも旅の直前まで半年間、横山武先生から宗教改革の歴史を受講できたおかげで、旅は何倍にも充実したものになった。

10日間一滴の雨にも遭わなかったのはたいへんな恵みであった。F姉が「ドイツの空にもスイスの空にも、雲はないらしいわ」と言われたところ、すかさずガイド嬢が「ありますよ」と答えたので大笑いとなった。それほどに空は青

▼ウィッテンベルク城教会 門扉前で記念撮影



く、秋とは思えないほど暑かった。

最初の訪問地アイゼナハのホテル前カール広場には、私たちを歓迎するように左胸に聖書を抱えたルター像が聳えていた。もつともルターの顔は私たちにではなく、きりつと天を仰いでいたが。早速私たちはルターめがけてシャッター・シャワーを浴びせて応えた。この地はまたバツバの生誕地で

もあった。

胸が震え、言葉も出ないほど厳肅な思いになったのはワルトブルク城の一室に入った時だった。ルターが新約聖書をドイツ語に翻訳した場所である。その時ルターは死と隣り合わせにいた。危ういところを領主フリードリヒ賢明王によつて匿われたのであるが、ヴォルムスの国会の審問に屈しなかったために、ローマ教会から破門され国外追放の身となっていた。その最中での翻訳であった。部屋には粗末な椅子と机があるだけだったが、翻訳のペンを走らせるルターの気配を感じたのは私一人だけだったろうか。

もう一箇所心の底に焼き付いたのは、ジュネーブ、ブランバレ公園の共同墓地に眠るジャン・カルヴァンのお墓であった。これがあの偉人のお墓かと思うほど質素だった。カルヴァンは自分の名が世に出ることを極端に避けたという。彼は「私は希望する、この

生命を終えた後には、喜ばしき復活の日が到来するまで、教会と市の慣例に従つて遺体を埋葬されることを」と遺言した。お墓はカルヴァンの信仰とその姿勢を力強く物語っていた。どこよりも清く美しかった。帰途、F姉が叫んだ「感謝、感激、感動の旅でしたね」と。OBIの旅だものと、私は深くうなずいた。

▼カルヴァンが仕えた サンピエール教会



学窓トピック

聖書科・音楽科

●増田誉雄先生記念追悼会

9月9日、お茶の水ガーデンパレスにて追悼記念会が行われ、増田先生を偲ぶ多くの方々が集われました。

●ドイツ・スイス研修ツアー

9月26日～10月5日にわたり、本誌2、3頁報告記載の研修ツアーが無事終了しました。お祈りを感謝申し上げます。

●教会音楽デー

10月18日、教会音楽デーを開催、中山信児先生（J.E.C.A. 菅生キリスト教会牧師、福音讃美歌協合理事・讃美歌委員）をお迎えして、「福音派の讃美歌についての歴史的展望と現在、今なぜ、新しい讃美歌集なのか」というテーマでお話いただきました。

●クリスマス会

12月8日（木）、恒例クリスマス会を実施いたしました。34名参加、キリストのご降誕を覚え、喜ぶ、祝された一時となりました。

●教会音楽科学年末発表会

2月21日（火）OCC8Fチャペルにて、教会音楽科学年末発表会を予定しております。どなたでも参加できます。

●第19回卒業式

3月3日（土）午後2時よりOCC8Fホールにて、お茶の水聖書学院第19回卒業式を予定しております。卒業予定者は、田畑勝敏（川越福音自由教会）、小澤ナオミ（多磨教会）、山本しずか（カンバランド長老キリスト教会）がみ野教会、石井由紀（鎌倉深沢教会）、新井由美、（入曽キリスト教会）、倉内一寿（玉川上水キリスト教会）、シムス由季子（横須賀中央教会）の7名を予定しております。

2012年度前期開講予定科目

		月	火	水	木	金	土
I	11:00 ～ 12:30		新約聖書概論（＊） 福井 誠		キリスト教説教入門 藤原導夫	教理と私たち 人間とは何か 山口勝政	
II	13:30 ～ 15:00		1, 2 サムエル記解説（＊） 世良田湧侍		ライフサイクルと信仰 堀肇	あかし文章教室（書き方を学び実作する信仰文学を読み合う） 三浦喜代子	
III	15:30 ～ 17:00		聖書原典購読中級 野口 誠		聖書の世界 飯島 勅	ローマ人への手紙 解釈と神学 岩上敬人	
IV	18:30 ～ 20:00		信徒のための 聖書教理入門（＊） 福井 誠		*	イエス様を学ぶ（マタイの福音書を軸に） 河村従彦	

・詳細は、事務局（03-3296-1005）までお問い合わせください。

・（＊）の科目は基礎科目になります。

クラス報告

『コリント人への手紙第1』

担当 山口 勝政

私の担当する科目は3年サイクルの前期のみで、(1)聖書解釈学、(2)第1コリント研究、(3)神学的人間論の3科目です。この3科目を3年ローテーションで行っています。今年は第1コリントでした。来年は神学的人間論です。

医師の喜びは入院患者が癒され、元気に退院することです。昨年妻がこのことを経験しました。このために主にある皆様がお祈り下さり心から感謝いたしております。退院後主治医の先生と看護師の方々にあいさつに伺いましたとき、とても喜んでくださいました。私は牧師ですが、同様に牧師の喜びは、みことばを語るときに信徒が救われ、みことばに感動し、霊的に成長することです。私はこのことを深く感じています。OB I 講師としての喜びも同様で、受講生の皆様が講義を聴いて、感動し、教会生活で喜びを持って証し

し、信徒の模範となって神の栄光を現す生き方をしてくださることです。こうした学生が増えれば増えるほど、OB I の声価は高まり、学生が増えてゆくことでしょう。

今年の第1コリント研究では聖書釈義と実際の適用を学びました。テーマは「霊と肉」「結婚と性」「偶像崇拜と教会」「異言問題」を取り上げ、またこれらに関して小論文を書くことを自由課題にしました。受講生の皆さんが私の講義だけを聴きに遠方より来校してくださるのはどんなに大きな励みでしたでしょうか。ある受講生は英文の分厚い注解書を自費で購入し、これをよく学び、大変優れた小論文を書き上げました。見事です。一般の神学生以上です。来年は神学的人間論です。人間を知ることが神をよく知ることです。どうぞご参加下さい。



「コリント人への手紙第1」を受講して

研究科 横田孝子

私が山口勝政先生の講義を受けたのは、今から3年前でした。また、今回久しぶりに同じ教科を受講いたしました。勿論先生の豊かなご見識、温かなお人柄に惹かれたこともそうですが、と言うよりは私の能力の貧しさゆえ、一度では理解しきれない悔しさもあり、再チャレンジというのが本音でしようか。

コリント教会の様々な問題を通して現代に生きる私たちにも起こりうる出来事を、人の知恵を求めのではなく、神の真理にしっかりと立ち、どのような状況の中にあっても神の視点から考える訓練をなさないと繰り返し教えて下さいました。「神の知恵と知識との富はなんと底知れず深いことでしょう。」(ローマ11・31)

また先生は「家庭集会を開いてください。」と呼びかけられ、我が家でも2年前から毎月2回のペースで学び会(ベレヤ会)をテキストを使って、多い時には13名の姉妹方が学んでおります。裏方では主人が美味しいコーヒーを出してくれまので、それも楽しみの一つです。その中で私が学んできたことを少しでもお分かち出来たらと思っています。一人一人のクリスチャンがみ言葉を深く愛し学ぶことで、霊的に成長し、み言葉を大胆に語る者となりたく願います。

OBI会計報告 (2011年8月1日～10月31日)

2011年度もご協力いただき
ありがとうございました。

有田 貞一	阿久津千枝子	須子 都	高野 富男	田畑 勝敏	中島總一郎	西 満	萩原 滋	平田 仁美	福井 誠	藤原 導夫	町田 恵子	宮本三枝子	森 登	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子
新井 由美	有田美榮子	嶋本 洋子	白鳥 智裕	篠田 一志	世良田湧侍	田中 恵子	戸川 偕生	浪井 弘子	芳賀 功	日名 富子	平松 庸一	藤村 洋子	増尾 善文	三浦喜代子	目崎由紀子	森本 馥
安藤 公子	飯島多稼夫	篠田 一志	世良田湧侍	田中 恵子	戸川 偕生	浪井 弘子	芳賀 功	日名 富子	平松 庸一	藤村 洋子	増尾 善文	三浦喜代子	目崎由紀子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子
猪狩 友行	石井 由紀	西 満	萩原 滋	平田 仁美	福井 誠	藤原 導夫	町田 恵子	宮本三枝子	森 登	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子
伊地知恵子	植木 朋子	萩原 滋	平田 仁美	福井 誠	藤原 導夫	町田 恵子	宮本三枝子	森 登	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥
絵鳩 彰	小野沢恵子	平田 仁美	福井 誠	藤原 導夫	町田 恵子	宮本三枝子	森 登	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子
金本 悟	加茂 康一	福井 誠	藤原 導夫	町田 恵子	宮本三枝子	森 登	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子
加茂 早苗	川端 安弘	藤原 導夫	町田 恵子	宮本三枝子	森 登	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子
鬼京由紀子	木嶋 浅子	町田 恵子	宮本三枝子	森 登	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥
木下 順子	国東 恵子	宮本三枝子	森 登	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子
窪井 節子	小林喜久男	森 登	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子
小宮 明子	齊藤とし子	森 登	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子	小宮 明子	森本 馥	横田 孝子	齊藤とし子

2011 年度 OBI 半期会計報告 (2011 年 3 月～ 2011 年 8 月) (単位千円)

当期収入	金額
授業料収入	3,124
助成金収入	3,000
献金収入	10,163
その他収入	32
収入計	16,319
当期支出	金額
学事支出	3,856
行事支出	24
経費支出	7,951
その他支出	253
支出計	12,084
当期収支残	4,235

編集後記

ドイツ・スイス研修旅行参加者一同
市川北バプテスト教会
中山キリスト教会

スタディツアーを企画し、昨年春はイスラエルを訪れ、秋はドイツ・スイスを訪れました。
増田学院長の後を継いで、新しく世良田湧侍学院長が選ばれ、今ではOBIの働きに鋭意取り組んでおられます。世良田学院長の年頭に於たつての言葉が本誌の「巻頭言」に掲載されていますが、そこに示されているヴィジョンを覚えその達成のため共に努力してまいりたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

副学院長 藤原 導夫



増田師追悼記念会

それから一年が過ぎ、昨年9月9日にはお茶の水ガーデンパレスにて追悼記念会が行われ、増田先生を偲ぶ多くの方々が集われました。
20周年記念行事としては、感謝会の他にも記念誌を発行したり、